

## 豊川用水通水50周年記念式典開催

豊川用水は昭和43年6月1日に通水を開始して以来50年にわたり、東三河地域や静岡県湖西市の人々の生活や全国有数の農業・工業地域の発展に大きく貢献してきました。通水50周年を契機に、水源地への感謝、先人遺業の承継等について再認識し、次の世代に伝えることを目的として記念式典が下記のとおり開催されました。

私も水源地域の代表として、出席をさせていただき、感謝状をいただいてまいりましたので、ご報告をさせていただきます。

### 記

日 時 平成30年9月29日(土) 午後2時から

場 所 ライフポートとよはし コンサートホール

### 式典内容

《一部》 開会の辞（実行委員会副委員長・豊橋市長）

主催者挨拶（実行委員会委員長・愛知県知事）

来賓祝辞（衆議院議員ほか）

来賓紹介・祝電披露

感謝状等贈呈

○水源地域（新城市・設楽町・東栄町・豊根村）

○天竜川水系流域変更協力利水者（寺谷用水土地改良区・  
岩田用水東部土地改良区・浜松土地改良区）

○豊川用水事業合口協力利水者（松原用水土地改良区・牟  
呂用水土地改良区）

○土地改良関係（吉田功氏はじめ59名）

○豊川用水施設維持管理団体（城下地域資源保全会・東大  
塚地域資源保全会・和地地域環境保全の会・伊奈みどり  
会・西大塚地域資源保全会・親所水とみどりのプロシエク  
ト）

○豊川用水通水50周年記念ロゴマーク及びフォトコン  
テスト、書道コンクールの最優秀賞者3名

エンディングメッセージ（県立渥美農業高等学校）

《二部》 朗読・水の歌（矢野きよ実）

花祭実演（東栄町御園地区花祭保存会）

ゲストメッセージ（BOYS AND MEN）

和太鼓演奏（県立豊丘高等学校和太鼓部）

メッセージ揮毫（矢野きよ実）

## 閉会の辞（静岡県副知事）

---

### ※東栄町の豊川用水との関りについて

東栄町を流れる大千瀬川は天竜川水系であります。豊川用水は、名前こそ「豊川」とついていますが、実は天竜川水系から水を供給しています。豊川用水にとって、重要な水源となっています。

その河口から約76キロメートルに位置している静岡県佐久間ダムから、そして愛知県内を流れる天竜川水系の大入川（豊根村）と大千瀬川（東栄町）から宇連ダムに導水しています。

当初は農業用水として計画されていましたが、のちに工業用水や水道用水としても使うように計画が変更されたため、豊川水系だけでは水量がまかないきれなくなり、天竜川流域からも取水することとなりました。東栄町中設楽地区にあります「振草頭首工」は宇連ダムに取り入れるための施設です。大入頭首工（豊根村）は上流域でたくさん雨が降って水が出た時に、大入川から最大毎秒5立方メートルを取水して導水路で大千瀬川に導きます。その後、振草頭首工で大千瀬川の水とあわせて最大毎秒15立方メートルを取水し、導水路で宇連ダムに貯水します。この2つの頭首工からの取水量は年間計

画取水量の15パーセント、宇連ダム貯水の68パーセントを占めています。また、佐久間ダムからは一定の条件のもとで、年間取水量の11パーセントとなっています。

我々の地域は豊川流域ではありませんので、直接的につながりが無いように思われがちですが、大千瀬川や大入川の水が豊川用水の源として、東三河地域(受益地)を支える役割をしていることをしっかりと伝えていきたいと思えます。

平成30年10月1日

東栄町長 村上孝浩



東愛知新聞掲載写真 (H30, 9, 30)



でためたりして、水  
路で東三河、静岡県  
湖西市へ送る仕組  
に完了した。年間  
使用水量は2億62  
00万立方メートル。

神事「花祭」が盛大に行われた（同）

東日新聞掲載写真（H30, 9, 30）